



第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成29年3月28日発行
第370号

「相手の立場になって考える」

○一つの言葉の大切さ

「相手の立場になって考える」、人との関係で最も大切なことの一つでありながら、なかなかできないことでもあります。こう言ったら相手がどう思うか。配慮が足りない一言や言わなくてもいい一言で、不快な思いをさせたり傷つけたりしてしまう。私も、若い頃から失言が多くて、家族も含めてたくさんの方に嫌な思いをさせたり傷つけたりして来たのではないかと反省をしています。



作者不詳（作者には、北原白秋 谷川俊太郎の2つの説あり）で「一つの言葉」という詩があります。

一つの言葉でけんかして 一つの言葉で仲直り
一つの言葉で頭が下がり 一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い 一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれぞれに 一つの心を持っている
きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心
一つの言葉を大切に 一つの言葉を美しく

校長時代、失言の多い自分への戒めとして、机の見えるところに入れていました。

○相手がどう思うかを想像する力

人と関わる仕事、特に、障がい福祉や特別支援教育では、相手が、障がいのある人本人、そして、障がいのある子どもさんを持たれ、日頃から、(周囲や社会の無理解なども含めて)さまざまな大変さに接しておられる親さんである以上、私たち福祉や教育に関わる者は、相手がどう感じるのか、受け止めるのかということに敏感になる必要があると思います。

以前、保護者から、別に利用している福祉サービスで、配慮の足りない対応と職員の一言に傷ついたという話を聞くことができました。

毎回、学校のことを出して恐縮ですが、例えば、給食で口の周りを汚したままで帰ってしまう、持ち物をぐちゃぐちゃのまま袋に入れて家庭に持たせてしまうといったことがたまにあります。担任は忙しくて、気付かない、気が回らないときもあるでしょうが、口の周りが汚れたまま、子どもを

保護者にお渡ししたら、保護者はどう思われるか。一度ならともかく、何度も続くと、担任への信頼は薄れてくるでしょう。さらに、そのことが話題になった際、ものの弾みで無責任とも取られるような言い方をしてしまったら、修復不可能なくらいに関係がまずくなることは間違いありません。

よく気がつく人・そうでない人、細かな気遣いができる人・苦手な人など、人にはさまざまなタイプがありますが、障がいのある人とその親・家族に関わる者の職業的な資質として、一つ一つの言葉や対応、振る舞いについての注意深さと、相手がどう思うのかということについての「想像力」を身に付けておくことが大切だと思います。

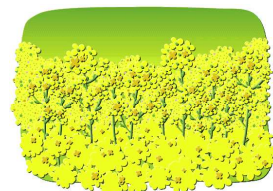
「相手の立場になって考える」。これは、いわゆる「おもてなし」の心です。自分が当事者だったら、あるいは、子どもや利用者の親だったらどう思うか、どういう対応を望むか、といったことについての「想像力」があれば、配慮の足りない対応や相手の心をえぐる発言は少なくなるだろうと、保護者のお話を伺いながら思ったところです。

自分自身の戒めや教訓としたいと思います。



さて、突然ですが、私は、このたび、法人内で初めて行われた人事異動で、入所のしょうぶの里に移り、新しい施設長として、現・熊本支援学校の井芹靖成教諭が来ることとなりました。世代交代期に入っているため、施設長が2年連続で交替することになり、ご心配やご迷惑をおかけすることになりますが、新任の井芹さんは、温厚誠実、温かみがあり人の気持ちがよく分かる好人物ですし、私も事業所全体を見る立場になり、これからも作業所とは関わって参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この1年間の第二ぎんなん作業所へのご厚情、ご支援、ご助力に深く感謝を申し上げます。
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



作業所の門扉完成

地震で倒壊したり傾斜したりしたブロックを撤去して、その後フェンス設置しましたが、門扉はそのままでした。その事務室と作業棟の両方の門扉を、保護者が経営する建設会社で改修してもらい、先週、完成しました。

事務所前の方は、真ん中にあった柱がなくなったので、車の出し入れがとても楽になり、複数台の車が駐車ができるようになり、作業棟の方の門扉もきれいになりました。

作業所の外観が少しだけよくなったのではないかと思います。



門扉工事の様子



完成した門扉

新しい缶つぶし機が入りました

アルミ缶つぶしは、作業所の主要な作業の一つですが、缶つぶし機がかなり年期が入っていたので、新しく1台機械を購入しました。

※愛称は「かばちゃん」です。

といっても、製造会社が全国で1ヶ所で機種も1種類なので、悲しいくらいに今までのと同じ型です。

簡単なお披露目式をして、さっそく新しい缶つぶし機で作業をしました。



手前が、新しい缶つぶし機

お花見、桜はまだ……

3月31日（金）に、水道端公園で、昼食時と午後にかけて簡単なお花見を計画しています。

今年は、桜の開花が遅れていますが、31日ならば、どうか咲いてくれると思います。



平成28年下半期熊本市再生資源 集団回収量のランキング

先日、平成28年下半期熊本市再生資源集団回収量のランキングが発表されました。おかげさまで、総重量41,791kgで、829登録団体中、総合で昨年と同じ3位、その他の部門で2位を獲得することができました。

皆さまにご協力いただき集めていただいた古紙やアルミ缶のおかげで達成できたと、感謝の気持ちで一杯です。

リサイクルは、作業所の仕事として重要な位置づけとなっています。アルミ缶の単価が昨年より下落してはいますが、来期もこれまで同様、みんなががんばって取り組んでいきたいと思っています。



回収の様子

異動のお知らせ

冒頭でも述べましたように、法人内で初の人事異動がありました。

施設長の高橋と職業指導員の太田家が、4月1日付けで入所のしょうぶの里に異動することとなりました。大変お世話になりました。

施設長	高橋⇒しょうぶの里
後任	井芹（熊本支援学校から）
職業指導員	太田家⇒しょうぶの里
後任（支援長）	村上（しょうぶの里から）

いよいよ春本番。とはいうものの、今年は、少し春の訪れが遅いようです。東京や福岡ではすでに桜の開花宣言がなされたようですが、熊本では、今はまだモクレンの花が咲いているので、桜の開花は少し後になりそうですね。

春は、別れや新たなスタートの時期でもあります。今回の異動で、作業所も職員が入れ替わります。温かくて和やかな雰囲気作業所。離れがたい気持ちはありますが、今回の異動で、作業所がますます発展することを願っています。

ありがとうございました。（高橋）

